

新規事業採択時評価結果（平成16年度新規事業化箇所）

担当課：道路局国道・防災課
 担当課長名：中島 威夫

事業名	一般国道141号 臼田～野沢バイパス	事業区分	一般国道	事業主体	長野県
起終点	自：長野県南佐久郡臼田町 下小田切 至：長野県佐久市 跡部	延長	5.2km		

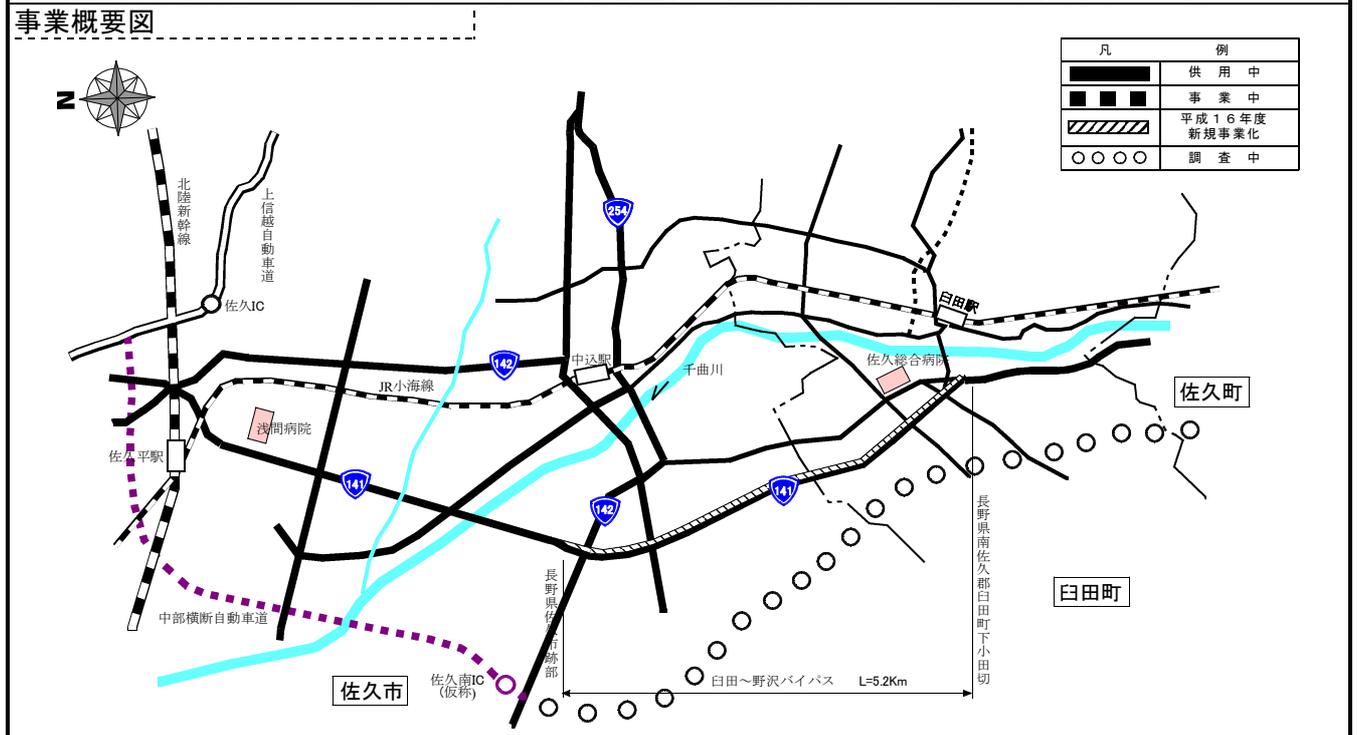
事業概要
 一般国道141号は、山梨県韮崎市から長野県上田市に至る延長約103Kmの主要幹線道路であり、佐久地域を南北に縦貫し、南佐久郡部と長野新幹線佐久平駅を中心とした商業地域及び上信越自動車道の佐久ICを結ぶ重要な路線である。臼田～野沢バイパスは、2車線暫定供用区間を4車線化する5.2Kmの4車線道路である。

事業の目的、必要性
 臼田～野沢バイパスは、4車線計画の内、暫定2車線で供用されている道路であるが、交通量の増加に伴い、朝夕を中心に慢性的な渋滞が発生しており、これを解消し、佐久平駅周辺の商業地域及び佐久ICへのアクセス向上に大きく寄与するものである。

全体事業費	18 億円		計画交通量	22,000 台/日	
費用対効果 分析結果	B/C	総費用	総便益	基準年	
	3.2	21 億円 （事業費：15億円） （維持管理費：6億円）	67 億円 （走行時間短縮便益：65億円） （走行費用減少便益：1億円） （交通事故減少便益：2億円）	平成15年	

事業の効果等
 ・円滑なモビリティの確保（長野新幹線・佐久平駅へのアクセス向上が見込まれる）
 ・災害への備え（長野県地域防災計画に第一次緊急輸送道路として位置づけられている）
 ・都市の再生（野沢中込中心市街地における渋滞解消） 他4項目に該当（定量的評価項目を含む）

関係する地方公共団体等の意見
 国道141号は南佐久地域を縦貫する重要な幹線道路であるため、「国道141号バイパス建設促進期成同盟会」（佐久市・臼田町）より4車線化を含む整備の要望（平成15年11月25日）を受けている。



※ 総費用、総便益とその内訳は、各年次の価額を割引率を用いて基準年の価値に換算し累計したもの。